

### 3 第2次観光アクションプランの進捗と評価

2018(H30)年度に策定した第2次茶のくに観光アクションプランでは、2015年からの変動が予想されるインバウンド需要を考慮し、3か年のプランとして策定、さらに2019年末より国内外でまん延していった新型コロナウイルスの影響による観光需要の激減により、計画を1年延期し2021年度目標を2022年度として取り組みました。

#### ■第2次茶のくに観光アクションプランの概要は以下の通り

アクションプラン	2019	2020	2021	注記
1 インバウンド対応商品の造成	→			
2 体験プログラムの通年実施	→			
3 星野、矢部の滞在プラン、観光ルート造成	●→			
4 八女市街、上陽、立花、黒木の着地型商品開発		●→		
5 八女らしい食メニューの開発・普及		●→		
6 イベント・祭りによる集客	→			
7 「旅する茶のくに週間」、 「旅する茶のくにバス」の継続	→			
8 インバウンド受け入れ勉強会実施	●	●		
9 キャッシュレスシステムの導入促進	→			
10 インバウンドに対応する交通、 施設サインの検証と整備		●→		
11 観光協会の統合	→			
12 観光ホームページの改修・適正化	→			
13 フォトライターの継続・育成	→			
14 総合パンフレットの更新とデジタル化	→●			
15 事務局長(マーケティング担当者)の配置		●		
16 観光事業に関するデジタルマーケティング	→			
17 観光に関するマーケティング調査	●	●	●	満足度調査等
18 八女版 DMO 事業の検証(PDCA)	● ●	● ●	● ●	八女市観光事業開発委員会による検証

## ■アクションプランの進捗状況

アクションプラン	執行状況
① インバウンド対応商品の造成	2019 台湾プロモーション 2019 訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成 2020 世界水準のDMO形成促進事業（外国人旅行者の受入環境事業） 2021－2022 既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業（立花他）
② 体験プログラムの通年実施	2019、2020 実施済 2022 実施予定 （※2021 新型コロナウイルスまん延により未実施）
③ 星野、矢部の滞在プラン、観光ルート造成	2019 宿泊商品等の商品造成・販売を実施 2021－2022 観光資源魅力向上支援事業（柚人の家改修）
④ 八女市街、上陽、立花、黒木の着地型商品開発	2019－2020 JAFスタンプラリーで市内回遊を促進 2020 誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成 2022 サステナブルな観光コンテンツ強化モデル事業（立花）
⑤ 八女らしい食メニューの開発・普及	2021－ 地域観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業 2021－2022 既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業
⑥ イベント・祭りによる集客	2019 各エリア（支部）で実施済 2020－2021 （※新型コロナウイルスまん延により未実施）
⑦ 「旅する茶のくに週間」、 「旅する茶のくにバス」の継続	2019－2020 実施済 2021 「旅する茶のくに週間」のみ未実施、茶のくにバス縮小実施 2022 実施済
⑧ インバウンド受け入れ勉強会実施	2019 キャッシュレス・2021 英会話 実施済
⑨ キャッシュレスシステムの導入促進	2019 実施済（導入開始）
⑩ インバウンドに対応する交通、施設サインの検証と整備	未実施
⑪ 観光協会の統合	2021 実施済

アクションプラン	執行状況
12 観光ホームページの改修・適正化	2019 - 2021 実施済
13 フォトライターの継続・育成	2019 - 2022 実施済
14 総合パンフレットの更新とデジタル化	2019 実施済
15 事務局長(マーケティング担当者)の配置	事務局長：市職員対応 マーケティング担当者：雇用済
16 観光事業に関するデジタルマーケティング	2019 以降毎年実施
17 観光に関するマーケティング調査	2019 以降毎年実施
18 八女版 DMO 事業の検証(PDCA)	2019 - 2022 実施済 八女市観光事業開発委員会による検証

### ■アクションプランの進捗状況

インバウンド対応のサイン整備は大型の予算を必要とすることと、コロナ禍への対応を優先したことで未実施となりました。FM 八女観光事業部の事務局長配置は第3次アクションプランで取り組みます。

その他、第2次アクションプランの計画期間の成果として、次の3点があげられます。

- ◆日本版 DMO 候補法人・本法人登録  
2022・4 更新登録
- ◆体験プログラムの通年実施の商品化
- ◆観光協会統合「八女フィルムコミッション事業開始」